

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	C 型肝炎硬変における硬変組織の炎症の程度とそこから発生した肝細胞癌の悪性度に関する研究
	研究対象者	C 型肝炎硬変を背景にもち、肝細胞癌と診断された患者さんのうち、2005 年 4 月から 2024 年 3 月の間に神奈川県立がんセンターで肝切除術を受けた方。加えて初発、単発、大きさ 5cm 以下の方。
	研究目的	組織の炎症が強く持続すると、炎症性サイトカインによって遺伝子変異が蓄積されて癌化すると言われています。C 型肝炎硬変症でも高度炎症が持続すると、炎症性サイトカインによって、より悪性度の高い肝細胞癌が発生すると予想されます。以前に行った先行研究では、HCV を背景とする肝細胞癌の切除例において、背景肝組織の炎症指数と、肝細胞癌の悪性度が相関することが示されました。今回、この先行研究に加えて、直近約 20 年に肝切除術を行った肝細胞癌症例において、悪性度と、周囲の肝硬変組織の炎症の程度との関係を検討し、関連を明らかにすることを目的としています。
	研究方法	手術で切除された検体を使用します。新たに検体を採取することはありません。切除検体から病変組織とその周辺部のプレパラートを作成し、病理専門医により炎症指数の算出と癌の悪性度を判断し、統計学的処理を行ってその相関関係を判定します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 6 月 17 日～西暦 2026 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	<input type="checkbox"/> 総長が研究実施を許可した日 <input type="checkbox"/> 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
	利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	<input type="checkbox"/> 試料:
<input type="checkbox"/> 情報:		<input type="checkbox"/> 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、 <input type="checkbox"/> 年齢、 <input type="checkbox"/> 生年月日、 <input type="checkbox"/> 性別、 <input type="checkbox"/> 既往歴、 <input type="checkbox"/> 併存疾患、 <input type="checkbox"/> 外来日・入院日・退院日、 <input type="checkbox"/> 臨床検査値、 <input type="checkbox"/> 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 <input type="checkbox"/> 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 <input type="checkbox"/> ゲノムデータ、 <input type="checkbox"/> 看護記録、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 消化器外科(肝胆膵) 神谷真梨子
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし

試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 消化器外科(肝胆膵) 神谷真梨子 連絡先：045（520）2222(代) 利用停止のお申し出は2025年03月31日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります
-------------------------	--